

理念委員会『はあーと』

自分の言葉で理念を語る
ことができるようになる

今年度のはあーとPJは「自分の言葉で理念を語る」ことができるようになる」を委員会方針として、メンバー7名が一丸となって取り組んでいます。

- 柱
- ①チームリアンの理念の組織浸透
 - ②支援介護ブック研修
 - ③人権新聞の作成・掲示
 - ④福祉読本の作成

武蔵野会の理念やクレドの精神を浸透させること、並びに障害者を含めた全ての人の基本的人権について、福祉に従事する職員として深掘りしていく作業を進めていきます。人権新聞は職員会議にて毎月皆さん個人にお渡しします。理念の浸透は支援者としてだけではなく、一人の人間として大きく成長する鍵となり得ます。一緒に深め、更なる浸透を目指しましょう！



岡部 笠野 布施
柴田 武田 川添 赤澤 (敬称略)

「多様な人々とともに生きるということ」
8月5日(土) 18時~20時・視聴覚室
いろんな生きづらさを感じている人、偏見や差別は知ること軽減されます。
福祉のプロとして『知ること』を大事に。

今月の紹介したい人 直井 利恵さん (税理士) 津川 志帆さん (本部課長)

今月の紹介したい人は、先日、リアンの内部監査のために来所された直井税理士と津川本部課長にインタビューをしました！

①この仕事を始めたきっかけを教えてください。

直：定年のない仕事につきたかったです。誰かに雇われて定年を迎えるより、一生働きたいと思っていました。その中でも簿記会計の美しさ「答えは一つである」ということに魅せられ、税理士を目指しました。
津：学校を卒業する時に資格がなかったこと、営業に向いてないと思ったことです。縁があり、今の仕事につきましたが、当時は事務職も利用者支援をしていて、利用者みなさんと一緒に旅行に行ったのが楽しかったです。

②この仕事の魅力、やりがいは何ですか？

直：津：(声を合わせて)すべての数字が合ったとき！全部の施設の数字が合った時の気持ちよさはたまりません。逆に合わないことは、何かしらの間違いがあるということです。それを一つひとつ確認してびたっと合った時にやりがいを感じます。

③チームリアンに一言お願いします。
直：やりがいを持って仕事ができるようになるのが一番です。法人の理念を地域の人々に知ってもらえるような施設にしてください。

津：職員のみなさんが仕事もプライベートも充実できるような良い職場にしていくってください。本部もがんばります。
直井先生、津川課長、インタビュアーありがとうございました！

紹介コーナー

岩崎書店発行、東洋大学社会学部社会福祉学科准教授 加山弾氏監修「福祉ってどんなこと」という本をご存知ですか。小学生を対象に「福祉」の意味や考え、制度や施設を支える社会的しくみなどを解説している内容なのですが、とてもわかりやすいです！私も子どもに説明するときに参考にさせていただいています。何より、チームリアンのメンバーがたくさん載っていますよ。(写真付きで)みなさんも、ぜひ見てください。

ぶんにゃん、来ました

みなさん、架空のキャラクターだと思いませんか。実在したんです！ついにぶんにゃんが来てくれました☆中身が誰とかさういうのはいらないです。ぶんにゃんなんです。そのぶんにゃんが色々な所に遊びに行きたいと話していたので、今後、「ぶんにゃんが行く」なんて始まるかもしれませんね。



右上：直井税理士
右下：津川本部課長
左：縁が和でのぶんにゃん



子育て広場の



1日に 密着！！



アピールポイント

毎日いろいろなお子さん
(赤ちゃん) に癒され
子どもたちから
元気をもらえます！

事業説明

『地域子育て支援拠点』に位置づけられる子育てひろばは、親子・家庭・地域社会の
交わりをつくりだす場であり、基本事業は以下の4つあります。

- ① 親子の交流の場の提供と交流の促進
- ② 子育てに関する相談・援助
- ③ 地域の子育て関連情報の提供
- ④ 子育て・子育て支援に関する講習の開催



スケジュール



- 8:30 ひろば内・外周りの清掃、
玩具の消毒、洗濯
- 9:00 朝礼
- 10:00 開館
(受付業務、玩具貸し出し、初来館者ご案内ほか)
- 11:15 絵本読み聞かせ・手遊びうた
- 11:30 ランチタイム開始
(食事テーブル・布巾等の準備)
- 13:30 ランチタイム終了
(食事テーブル・布巾等の片付け)
- 15:30 絵本読み聞かせ・手遊びうた
- 15:45 (7, 8月は16:45) みんなでお方づけ
- 16:00 (7, 8月は17:00) 閉館
トイレ他の清掃、
使用遊具・玩具・マット等の消毒、
洗濯
- 17:30 業務終了



人気企画

- 毎日(午前・午後各1回)の
絵本読み聞かせと手遊びうた
- お誕生会
- 体重測定
- 食事相談など



インタビューを通して

同じ施設の中にあるけれど、なかなか足を踏み込むことの少ないエリアですよね。子どもたち同士・お母さん同士・お父さんやおじいちゃん、おばあちゃん達保護者の輪を繋げる場所でした。

お名前と年齢を子供の背中に付けることで、より交流しやすく工夫があり、いたるところに細やかな気遣いが感じられました。きめ細やかに行き届いているお掃除も、居心地の良い理由になっているのかな。

乳児～就学前の子どもたち、そしてお母さんたちが日々通われているワケが少し分かりました♪

お母さんたち【同士の繋がりを橋渡しする】
素敵な場所。

そして素敵な笑顔が沢山ありました。

